

【学校の教育目標】

明るく笑顔あふれる伊深っ子

学び合う 思いやる やりぬく

【児童の実態】

- すすんで自分の思いや考えを発表することができる。
- △見通しをもって考えることに弱さがある。
- △仲間の意見をもとに、学びを深めようとする姿に弱さがある。

【目指す児童の姿】

- ・学習に楽しく主体的に取り組む姿
- ・自己の考えを主体的に説明することができる姿
- ・仲間の意見を聞くことで、自己の考えを深めたり、見直したりできる姿

【研究主題】

主体的に学び合う児童の育成

～ICT機器を活かした算数の指導を通して～

【研究仮説】

授業の中でICT機器を有効的に活用することで、見通しをもって自己の考えをもつことや、主体的に考えを交流して自己の考え深めることができ、主体的に学び合いができる児童の育成をすることができる。

【研究内容1】

ICT機器を活用するための技能習得

- ① 児童がタブレット端末の技能定着を図る指導
- ② 授業でICT機器を用いる工夫の研修

【研究内容2】

学び合うためのICT機器を活用した指導の工夫

- ① 問題把握をし、解決の見通しを持つための場での活用
- ② 自己の考えをもつ場、交流で深め合う場での活用
- ③ 学習内容の定着を図る場での活用

【研究を支える日常的な活動】

- ①計算スキルタイムでのICT機器の活用
- ②すいすいタイムでのGIFU Web ラーニングの活用
- ③総合的な学習の時間によるICT教育
- ④他教科でのICT機器の活用
- ⑤情報モラル指導
- ⑥ユニバーサルデザインに基づく授業と環境づくり

伊深小のICT環境

タブレット一人一台・電子黒板・教師用タブレット
プロジェクター・書画カメラ・校内wi-fi環境